

福岡の花と緑の情報誌

まちとみどり

2019 春・夏号 Vol. 36

公益財団法人
福岡市緑のまちづくり協会



特集

福岡の花づくり・森づくりを
応援します!

福岡の花づくり・森づくりを 応援します!

緑の活動支援事業の紹介

福岡市緑のまちづくり協会は、市民の皆さんが自主的に行う花づくり・森づくりを応援する「緑の活動支援事業」を行っています。この特集では事業の概要をはじめ、活動の様子、表彰制度、団体の立ち上げ方、新事業について紹介します。

事業の概要

この事業は、市民の皆さんの緑化活動を育成・支援することにより、緑の普及啓発、地域の環境改善、地域の新たなコミュニティづくりを目的としています。事業には「地域の森づくり」と「地域の花づくり」の2種類があります。

地域の森づくり(17団体)

樹林地等で樹木の間伐、剪定などによる保全管理、植樹による森の再生、市街地に植樹を行うことによる緑の名所づくりに取り組んでいます。また緑の啓発活動として、地域住民向けの催しや企業、学生ボランティアの受け入れなどにも力を入れています。



里山の保全管理



どんぐりを採取しての育苗



地域の学生と共働での松林清掃

地域の花づくり(157団体)

公園や道路沿い、駅前、小学校外周で花壇づくりを行っています。緑化啓発イベントへの参加、子どもたちとの花植え活動、地域での催しの開催など、花を通じたさまざまな活動を行っています。



たくさんのひとで賑わうお祭り



小学校の外花壇をきれいに!



おそろいの法被で作業

新規認定の申請期間

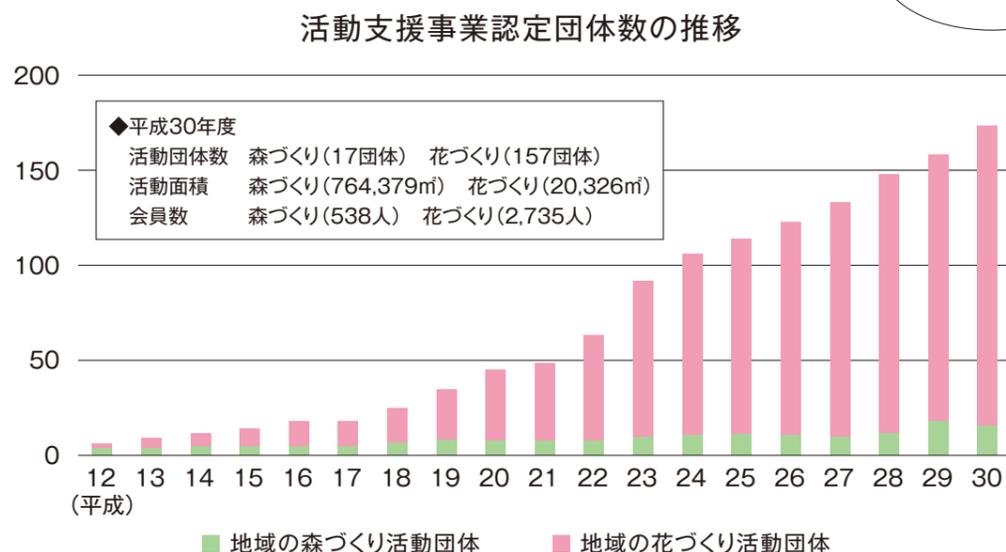
上半期	1月4日から1月末日まで
下半期	7月1日から7月末日まで

事業の内容

	地域の森づくり		地域の花づくり
	樹林地などの 保全管理・再生	緑の名所づくり	
認定の条件	1.活動内容について、活動場所の所有者または管理者の承認を得ていること。 2.団体の組織および活動計画・収支予算が整っており、5年以上の継続ができること。 3.営利を目的とした団体ではないこと。 4.特定の宗教等に基づいた団体でないこと。		
	5.福岡市内にある樹林地などで自主的に保全管理・再生活動を行う、市民らにより結成された団体。 6.活動区域の面積が300㎡以上であること。	5.福岡市内の市街地で植樹により緑の名所づくりを行う、市民らにより結成された団体。 6.活動区域が校区以上の広範囲にわたっていること。	5.福岡市内にある公共用地や空地などで自主的に花壇づくり等を行う、市民らにより結成された団体。 6.花壇などの面積が10㎡以上であること。
助成金額	【3年間】 年間上限20万円 【4年目以降】 年間上限10万円	【最大3年間】 年間上限20万円	【5年間】 年間 1㎡あたり2,000円 上限20万円 【6年目以降】 年間 1㎡あたり1,000円 上限10万円

*初年度、下半期認定の団体は半額になります。
*下半期認定団体の助成対象期間は、認定年度も1年として加算します。

活動団体数の推移



年々
増えているねー!!



個性豊かな花とみどりの活動団体を紹介します

現在、福岡市内では緑の活動支援事業によって結成された団体が花とみどりの活動をしています。団体を構成しているのは町内会、老人会、花好きの集まりなど多様なメンバーで、結成のきっかけや活動の目的もさまざまです。皆さんも活動してみませんか。



松林を地域の力で守る

地域の住環境を守る松林を後世に引き継ごうと、住民で力を合わせて保全活動をしています。作業を通じて住民の絆がより強くなります。



活動場所／三苦海岸松林

三苦松林再生会

三苦海岸の松林で、松の剪定、下草刈りなどを行い、松苗の植林、ゴミの不法投棄の監視など、活動は多岐に渡ります。

また、和白中学校の1年生が体験学習として作業に参加しています。生徒たちは作業を通じて地元愛を育み、保全活動の将来の担い手として、地域の期待が寄せられています。

竹林の魅力を引き出す

人の手が入らず荒れてしまった竹林を、緑の美しさ、清々しい香り、草木の手ざわりやざわめきなど、訪れた人が五感で楽しめる場所にします。



活動場所／七隈緑地(城南区七隈1-11)

ぐりーんぱんだ

城南区の住宅地にある七隈緑地。放置された竹林が雑木林を竹やぶにしている場所で、竹を切りながら森を育てています。メンバーは、子どもから大人まで幅広く、はじめてのボランティアの方も受け入れています。

竹林整備のほかに「自然観察」「木の枝や実を使った工作」「花の寄せ植え」「絵本の読み聞かせ」などの活動もしています。



町内会が中心となって

自分たちが住む町を安全で安心して暮らせるようにしようと、市内で多くの町内会が花植えをしています。道路沿いや公園に花があることで町内が明るくなります。



東領公園花咲かせ隊

博多駅に近い東領公園では、環境美化のため町内会が母体となり昭和54年から花植え活動を続けています。

花壇には明るいビタミンカラーの花を選び、オフィス街を歩き交う人たちに元気を届けています。また、公園脇に線路が通っているため、電車からの見え方を意識した花壇づくりを行っています。



活動場所／東領公園 (博多区博多駅前4丁目)

花好きが集まって

「地域を花で明るくしよう」と、花好きたちが集まって活動しています。花壇を通してのさまざまな活動により、地域住民のコミュニケーションが深まります。



活動場所／西南杜の湖畔公園 (城南区七隈6丁目 外)

西南杜の花クラブ

花壇を3つのブロックに分け、担当制を取り入れています。自主性を持って管理された花壇には一年中花が絶えません。

春のチューリップやシバザクラをはじめ、宿根草も取り入れた花壇は長い期間花が楽しめるように考慮されて花が植えられており、近隣の皆さんの憩いの場所となっています。

まちづくり に花の力を

町内会、企業、学校が協力して、花のあるまちづくりを進めています。花は人々の心を豊かにするだけでなく、住む人や働く人など、地域のつながりも強くします。



活動場所／博多駅筑紫口通り、
堅粕小学校通学路

博多駅東街づくり連合会

違法駐輪・違法チラシなど地域の環境悪化を何とかしたいと、町内会が団体を結成。団体を中心として、花壇づくりや清掃活動に地域の企業や学校をまきこんで活動しています。

例えば花壇近くの企業による水の提供、夏休み中の中学校の生徒による水やりなど、多くの協力と花の力で安全できれいな通りがよみがえりました。

老人会 のみんなで楽しく

一人暮らしなどで自宅にこもりがちな高齢者を外に連れ出し、みんなで花壇づくりをしています。花や土にふれ、仲間との楽しいおしゃべりは元気の源になります。



活動場所／市営板付南住宅6棟敷地内
(博多区板付7-1-6)

南三区老人クラブ悠生会 悠生みどりの会

市営板付南住宅の敷地内に全部で7か所ある花壇には、一年を通して季節の花が楽しめ、散歩をする居住者の憩いの場所となっています。また、メンバーは作業しながらのおしゃべりにも花を咲かせ、楽しく活動しています。花づくりを通して居住者のコミュニケーションを図っています。

福祉 の目線で花壇をつくる

花は人々の間に交流が生まれるきっかけになります。病気やけがをした人、障がいがある人、子どもや高齢者など、誰もが癒しや楽しみを感じられる花壇づくりをします。



活動場所／アイランドシティ中央公園
園芸福祉の庭
(東区香椎照葉4丁目)

園芸福祉ふくおかネット

園芸福祉とは「仲間をつくり、植物と接して、しあわせになろう」という活動です。年齢や性別、そして障がいの有無に関わらず、花や土に触れる喜びを共有し、心と体を元気にすることを目的としています。

活動場所の「園芸福祉の庭」では、車いすの人をはじめ誰もが楽しめる花壇づくり、五感で楽しめる癒しの庭づくりを行っています。

学校 で子どもたちと一緒に

学校の外向き花壇に子どもたち、教職員、地域ボランティア、PTAなどが協力して花を植えています。花によって地域の人とも交流が生まれ、校区を明るくしています。



活動場所／東光小学校外周花壇
(博多区東比恵2-21-1)

フラワーアップ東光

花や土にふれることを通して、子どもたちのいきものを大切にする心を育もうと活動しています。東光小学校には校門がある道沿いに花壇があり、地域の方も季節の花を楽しみにしているとか。花壇付近の清掃や水やりをがんばる子どもたちに「花の世話をがんばって!」などの声かけがあり、花壇は地域の温かな交流の場になっています。

「花と緑のまちづくり賞」に輝いた皆さん

森づくり・花づくり団体の活動を応援するものとして、福岡市緑のまちづくり協会では毎年「花と緑のまちづくり賞」を実施しています。花と緑のまちづくりに5年以上積極的に取り組み、他のモデルとなる団体を表彰するもので、平成28年度から現在の形となりました。これまでに賞に輝いた7つの団体を紹介します。(団体の紹介については受賞当時の情報です)

平成28年度受賞

油山自然観察の森「森を育てる会」



●活動場所／油山自然観察の森(南区松原) 40,000㎡

明確なビジョンに基づいた意欲的な活動

活動内容 油山自然観察の森の保全活動。自然観察ハイキングや外部講師による勉強会・安全講習会も開催。

評価された点 会で策定した五か年計画に基づく保全作業に加え、植生・昆虫調査などボランティアの域を超えた幅広い活動が特長。HPや会報での情報発信に加えイベントなどで森の魅力を広く伝えています。

泉東町内会花壇愛護同好会(ひょうたん池花クラブ)



●活動場所／中牟田池(西区泉2丁目) 100㎡

花の持つ社会性が発揮されている活動

活動内容 中牟田池周辺での花壇活動。住民参加型のイベント開催。

評価された点 四季の花が咲くひょうたん池は、地域住民の憩いの場として親しまれています。また「ひょうたん池祭り」や独居高齢者を対象とした「せんだんふれあい会」を開くなど、花の持つ社会性を生かし、地域コミュニティの活性化を図っていることが評価されました。

はかた花と緑の会



●活動場所／大博通りフラワーポット77基、歩道植栽帯、地下鉄出入口花壇78㎡

女性による企画、実践、発信力のある活動

活動内容 大博通りに設置されたフラワーポットと、地下鉄出入口花壇や交差点花壇の管理、除草・清掃活動。

評価された点 博多のまちづくりに取り組む団体が協力し、大博通りを花とみどりていっぱいしよう、女性が中心となり活動しています。学校や企業を活動へ引き込むなど高い企画力と実践力があります。

NPO法人 福岡グリーンヘルパーの会



●活動場所／九州大学伊都キャンパスの生物多様性ゾーン 120,000㎡

地域の遺伝子を受け継ぐ里山再生の活動

活動内容 植樹、育苗、育林、里山保全のほか、環境学習会も開催。

評価された点 遺伝子レベルでの地域の里山復元を目指し、荒廃した竹林の伐採、近隣樹木の種子採取、播種、育苗、植樹、育林とすべての過程を実践している活動は貴重。大学生の野外実習、環境省のモニタリング調査への参加など、幅広い環境保全活動が評価されました。

みどりちかまる推進局



●活動場所／地下鉄七隈線の駅舎出入口8か所 44㎡

地下鉄沿線に広がっていく花と緑の活動

活動内容 地下鉄七隈線の駅舎出入口でのプランターによる花づくり。

評価された点 緑をベースに一年草で季節感を出している植栽が、緑の少ない都市部で目に入ってきやすい効果的なデザインとなっており、多くの人の癒しとなっている点が評価されました。駅周辺の店舗や駐輪場の管理者などに水やりの協力を依頼するなど、活動を継続しやすい体制づくりがなされています。

エコ・ガーデンと愉快的仲間たち



●活動場所／梅林緑地(城南区梅林3丁目) 117㎡

緑地を綺麗に!費用をかけず、広い花壇を花いっぱい!

活動内容 梅林緑地での花壇活動。校区内での花づくり講習会やパネル展示、花壇見学会などにも参加。

評価された点 花壇に植栽する花の種類は、丈夫、花期が長く安価な品種の中から花壇の場所の環境を考慮して選択。さらに宿根草を挿し木や株分けして増やすなどの工夫も見られます。団体として成熟し、バランスのとれた無理のない活動内容が評価されました。

花の仲間たち



●活動場所／九州がんセンター(南区野多目3丁目) 320㎡

年中花の絶えない、元気をもらえる癒しの花壇

活動内容 九州がんセンターでの花壇活動。

評価された点 多品種が植栽されている花壇は年中花が絶えないよう管理されており、メンバーの技術の高さがうかがえます。花壇はブロックごとの担当制で管理されているにも関わらず、患者さんをはじめ多くの人を癒すという目的が共有されており、統一感のある癒しの庭になっています。

平成29年度受賞

平成30年度受賞

あなたも始めてみませんか?

森づくり・花づくり活動団体を立ち上げよう!

地域で森づくりや花づくりにチャレンジしたいと思ったら、まずは緑のまちづくり協会に活動団体として申請することから始めましょう。ここでは、昨年から西区愛宕浜で活動し始めた「花*花*HANA」の皆さんにスポットを当て、申請から助成金交付までの流れを紹介します。

「花*花*HANA」

- 活動場所／西区愛宕浜1丁目
- 結成／平成30年
- 会員数／6人

代表の米村靖子さんに話を聞きました!



Q 花づくり団体を立ち上げたきっかけは?

A 雑草だらけだった姪浜中学校横の花壇を「何とかしたい!」と思ったから。
メンバーの誰もが姪浜中学校西門前花壇のことが気になっていて、各自でできる範囲の手入れをしていましたが、あるとき自治会の集まりで話題に上り「やろう!」と決めました。

Q 認定されるまでに大変だったことは?

A まちづくり協会で教えてもらえるので、手続きはスムーズ。
緑のまちづくり協会の窓口で相談したところ、何をすればいいか分かりやすく教えてもらったので、むずかしいことはなかったです。



Q 現在、どんな活動をしていますか?

A 姪浜中学校西門前花壇の手入れと育苗。
私たちは現在「苗代0円」で活動中。「一人一花スプリングフェス」の花壇コンテストに参加していただいた苗や無料配布の種などを使っています。メンバーは自宅でも育苗にも取り組んでいますよ。

Q 活動する中でうれしかったことは?

A 地域の方から声をかけてもらえること。
「いつもきれいな」「ありがとう」と言われるとうれしいですね。中には苗や種を持ってきてくださる方も。昨年夏にはひまわりが大きく育ち、写真を撮りに来る人も多かったんですよ。

Q 大変だったことは何ですか?

A 1年目はすべてが試行錯誤でした。
花壇の近くに水場がないので、夏の水やりが大変でした。また、暑さで苗が育たないなど試行錯誤の一年でしたが、地域が花で明るくなるよう活動を続け、次世代へとつないでいきたいです。



Q 協会からのサポートは利用していますか?

A 講習会や情報誌など役に立っています。
育苗に挑戦するとき講習会を開いてもらったり、毎月届く「グリーンノート」にも参考になる情報がいっぱい。分からないことは緑のまちづくり協会がサポートしてくれるので安心です。

Q 始めてみたい方へアドバイスを!

A まず、団体を立ち上げましょう。
5人以上の仲間を集め、団体を立ち上げたら協会の助成金を受けられます。協会の支援も心強いですよ。ぜひ、皆さんもチャレンジしてください。

森づくり・花づくり活動団体を作るには ～認定申請から助成金交付まで～

助成金の交付を受けるためには、地域の森・花づくり活動団体としての認定が必要です。緑のまちづくり協会に必要書類を添えて提出し、認定審査を受けます。
*書類は緑のまちづくり協会ホームページからダウンロードすることもできます。

1 申請の準備

認定条件に適合しているかを確認する
・森づくりは300㎡以上、花づくりは10㎡以上面積があるか?
・会員は5人以上いるか? など

2 活動する土地の管理者の許可をもらう

3 認定申請書と関係書類を緑のまちづくり協会へ提出する

4 協会による現地調査、書類審査を受ける

5 認定審査会に出席する

6 活動団体に認定される

7 助成金の交付申請をする

8 助成金が交付される

9 活動開始!



現地調査



認定審査会



活動開始

森づくり事業に新メニュー誕生!

「緑の名所づくり」を応援します

平成31年度から地域の森づくり事業に新しいメニュー加わります。
ウメやサクラ、モミジなど、地域の特色を活かした植樹などを行い、緑の名所づくりをする皆さんを応援します。

助成内容

福岡市内で市民の皆さんにより結成された団体が自主的に取り組むもので、市街地に木を植えることで緑の名所をつくる活動を支援します。対象範囲が校区以上の広範囲にわたることが条件です。

助成金 年間 上限20万円 助成期間 最大3年間

こんな活動をしています!

梅香る町 梅林推進プロジェクト

「梅林という地名なのに、梅がないね…」という気づきから、国道沿いなどに枝垂れ梅を植樹したのが始まりでした。現在までに町内会を中心とした地域住民、中学生、周辺企業が参加して活動を行っており、植樹された梅の木は60本を超えています。

こうした植樹を通して地区内の各町内会を超えたつながりを作り、子どもたちが「僕たちは、この〈梅香る、梅いっぱい町〉で育つんだ」と自慢できるような町にしたい、梅の木が安全で住みやすい梅林地区の象徴になってほしいという思いをこめて活動しています。



緑のコーディネーターさんを
紹介します



教える側も教わる側も、みんな笑顔に

よし まつ あき こ

吉松 晃子さん(5期生)



ハンギングバスケット、寄せ植え、カラーサンドなどの講師として活躍する、緑のコーディネーター5期生の吉松晃子さん。吉松さんの講座では、誰もが笑顔になるといいます。その秘訣をうかがいました。

始まりはマンションの花壇

吉松さんが緑のコーディネーターになったのは、平成24年。その出発点は当時住んでいたマンションの花壇でした。花好きの住民数人で花壇の手入れを始めて敷地内がきれいになると、次第に敷地外の荒れた街路花壇が気になり始めたとか。そこで、花壇を管轄している福岡市に問い合わせたところ「手入れをするなら助成制度がありますよ」と、緑のまちづくり協会を紹介されたそうです。

早速協会に申請して花づくり団体「フルール」を立ち上げ、活動はマンションの外へ広がっていきました。もともと好奇心旺盛な吉松さんは、花やみどりと本格的に関わるにつれ「もっと知りたい、もっとやりたい」という気持ちがふくらんでいき、ついには緑のコーディネーター養成講座を受講したというわけです。

同じころ、ハンギングバスケットマスターの資格も取り、当時住んでいた福岡市の西新地区では公民館や小学校での花壇活動など、花を通じた地域交流を楽しみました。西新小学校では仲間と共に、寄せ植えやペットボトルの花飾りで6年生への「卒業式の花道」を作り、学校から感謝状をもらったことが、心に残る思い出です。

「押し掛けアシスタント」で勉強

緑のコーディネーターになった吉松さんは、地域での花づくりのかたわら、先輩コーディネーターの講座に参加するようになりました。定員オーバーのときは「手伝いをさせてください!」と押し掛けアシスタントをかって出たとか。講座の準備や当日の進め方など、このときの経験がとても勉強になったと吉松さんはいいます。

アシスタントを数年務めた後、念願の講師デビューを果たします。「先輩方に憧れていたのが、自分が講師になったときは達成感でいっぱいでした。そして何より、受講者の笑顔がうれしかった」と、当時を振り返ります。

笑顔でいるために、準備はキッチリ

現在、吉松さんは毎月2、3回、講座を行っています。そのなかで大切にしているのは、作業手順を分かりやすく伝えること。吉松さんの講座をのぞいてみると、受講者には作り方を簡潔にまとめたレジュメが配られ、それに沿ってユーモアを交えながら分かりやすい説明が加えられるため、受講者が作り方に迷う様子は見られません。

その気配りは、アシスタントの緑のコーディネーターにも向けられていて、講座内容が未経験という場合は、本番前の会場で「ミニ講座」を開き、一通り一緒に作ってから講座に臨むようにしています。また、当日の流れやどう動いてほしいかをレジュメにして伝えるのも工夫しているポイントで、「手伝いに来たけれど、何をしたいかわからないということがないように、そしていつでも再確認できるよう、文字で伝えるのが一番」と吉松さんは考えています。

そして、何より心がけているのは「笑顔」。「まずは自分が笑顔でいるために、準備は2、3か月前から始めます。心配性なんです」と笑う吉松さんですが、「準備を万全にし、ゆとりを持って笑顔で皆さんの前に立つ」という姿勢が、常に貫かれています。「こちらが笑顔だと受講する皆さんも自然と笑顔になる」と吉松さんが言うように、教える側も教わる側も笑顔になれる秘訣は、万全の準備と伝え方の工夫にありました。



南当仁公民館で行われた「正月の寄せ植え講座」。参加者に好評だったため、吉松さんの講座は春から定期的に開催されることになりました



しめ飾り講座では、かわいらしく華やかな作品が1時間ほどで完成

あなたもチャレンジしてみませんか?

2019年度 福岡市緑のコーディネーター養成講座のご案内

※講座は隔年開講です

●福岡市緑のコーディネーターとは

花やみどりに関する専門的な知識をもち、福岡の緑化推進のための活動を行う人です。現在213人が、地域の花壇づくりや里山保全、みどりの講座の講師など、各自の得意分野を活かし福岡市内で活躍しています。緑のまちづくり協会は、緑のコーディネーターの活動を積極的にサポートしています。

●養成講座とは

福岡市内で花と緑のまちづくりの活動をするリーダーの育成を目的とした講座です。修了すると福岡市長の認定を受け、正式に「福岡市緑のコーディネーター」として活動することができます。

●講座の内容

月2回程度、約5か月にわたり講座を開催します。前半は、地域活動、市民活動の現状、団体立ち上げや運営のポイントなどについて座学を行い、後半はグループに分かれ市民緑化活動の企画、実践を行います。

●募集期間 2019年4月1日(月)～5月10日(金)
※応募資格や応募方法など、くわしくはホームページでご確認ください。

協会ホームページ www.midorimachi.jp

緑のまちづくり協会 検索

問い合わせ (公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課
TEL 092-822-5832



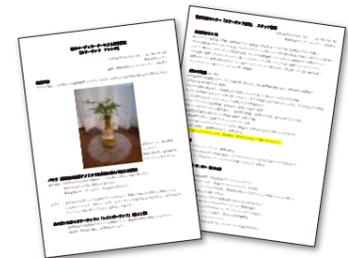
寄せ植えの花苗は、できるだけ朝倉市で調達。少しでも材料費を安く抑えるため生産者のハウスを回り、直接買い付けています

忘れられない、協会のサポート

現在、朝倉市に住んでいる吉松さんは、講座のたびに福岡市へ通っています。その精力的な活動を支える原動力には、協会への感謝の気持ちがあるといます。

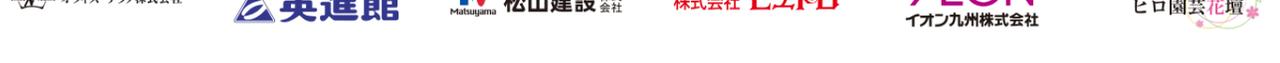
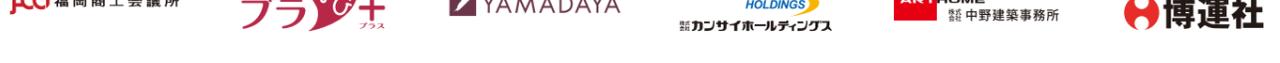
「緑のコーディネーターの養成講座で行き詰まった私に、ある協会職員の方が掛けてくれた言葉が今も忘れられません。『一人でがんばらなくていい。できなくてもいい』、その言葉で心が軽くなり、念願だった緑のコーディネーターになれたんです。今の私があるのは、あの言葉のおかげ。だから、みんなで活動を盛り上げて、協会への恩返しをしたい」と吉松さん。

「緑のコーディネーターになろうか迷っている方は、ぜひ挑戦してみてください。きっと楽しい世界が待っていますよ!」と、吉松さんは未来の仲間たちにエールを送ります。



受講者に配るレジュメには、講座の作業手順や持ち帰った後の管理方法がまとめられています

スポンサー花壇へのご協賛ありがとうございます



都心部の4つの通りなどの
交差点や横断歩道前を
表記企業の皆さんの花壇が、
まちを鮮やかに彩っています。

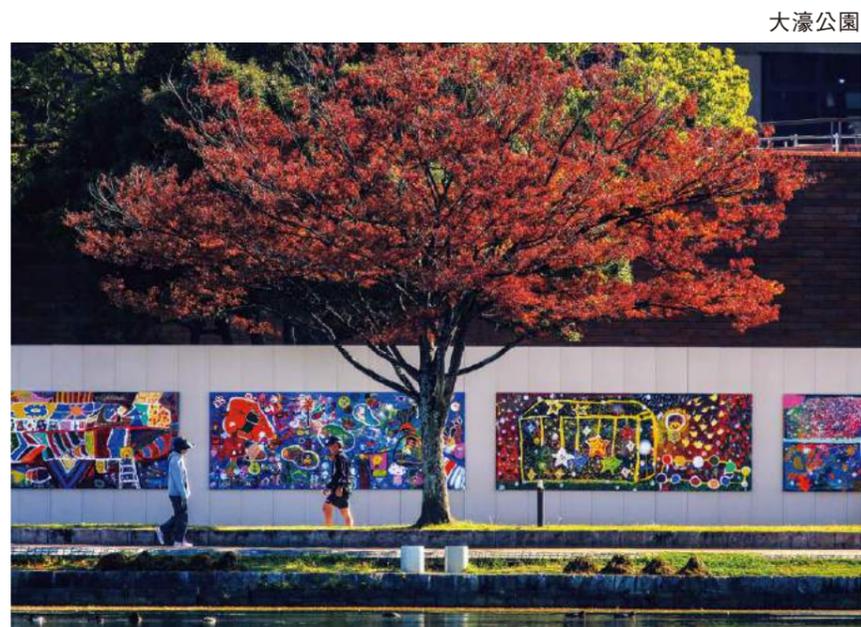
※平成31年1月末現在



第19回 花と緑のまちかど写真コンテスト

受賞作品発表

公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会では、毎年「花と緑のまちかど写真コンテスト」を行っています。今回も公園や街路樹などのまちかどの花や緑をテーマとした福岡市内で撮影した写真を募集したところ、84人の皆さんから196点の作品をご応募いただきました。入賞した作品をご紹介します(敬称略)。



大濠公園 「秋色の公園」 関東 博子



清流公園 「春の彩り」 高鷹 春一



舞鶴公園 「癒やしの空間」 河野 勲



舞鶴公園 「晩冬」 成清 平和



奈多公園 「次の花へ」 濱咲 誠



天神中央公園 「緑あふれるまち」 柏木 治邦



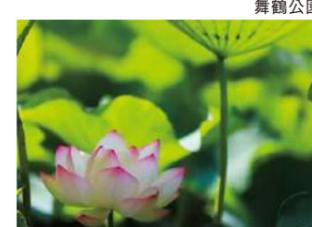
博多区築港本町 「炎暑」 東 保彦



アイランドシティ 「夏の日射しを受けて」 福原 良一



住吉神社 「新緑の大クス」 船津 龍一郎



舞鶴公園 「日影でひと休み」 眞船 正行



海の中道海浜公園 「ネモフィラの丘」 山本 和弘



福岡市植物園 「花盛りの朝」 足立 勝昭



舞鶴公園 「水辺のイソップ物語」 伊藤 敏



舞鶴公園 「モネのように」 井上 寛



舞鶴公園 「侵食」 今崎 利弘



福岡市役所 「真夏に咲く」角 芳郎



海の中道海浜公園 「川の流れるように」 久保田 良美



舞鶴公園 「梅香る」 清水 邦夫



宮崎宮花庭園 「雪中に咲く冬ぼたん」 橋本 禎寛



海の中道海浜公園 「夏風が吹き抜ける」 藤井 利成



宮崎宮花庭園 「華の輪舞」 松本 洋子



舞鶴公園 「夕照に輝く」 丸山 徳子



舞鶴公園 「輝き続ける」 南 雄志郎

第20回 花と緑のまちかど写真コンテスト 大募集

応募締切 2019年7月31日(水) 必着 締切を1か月早めました!

応募方法 応募票に記入し、作品の裏面に貼付の上、郵送または持参してください。
お一人3点まで応募できます。
(応募票は協会ホームページからダウンロードできます。また、区役所、市民センターなどにも置いてあります)

応募上の注意 (作品) 2018年8月1日から2019年7月31日までの一年間に福岡市内の花と緑を題材とした未発表の写真が対象です。
(サイズ) 四つ切り、ワイド四つ切り、A4
(著作権) 入賞作品の著作権は主催者に帰属します。賞に選ばれた場合は、原板やデータを提出していただきます。
(肖像権) 人物が写っている場合、撮影の同意を得てください。肖像権等の承諾は応募者の責任とします。画像加工したものは応募できません。

福岡市内の花や緑・人・まちの3要素が合わさった作品を送ってください。



くわしくは 協会ホームページ www.midorimachi.jp
問い合わせ (公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 TEL 092-822-5832



公益財団法人

福岡市緑のまちづくり協会 事業のご案内

緑のまちづくり協会では福岡市が花と緑あふれるまちとなるように花や緑に関する様々な事業を行っています。

都市緑化などの推進

緑化活動団体を支援

市民活動団体が自主的に取り組む緑化活動を支援しています。

●活動費を助成しています

地域の森づくり: 市内にある樹林地などで樹木の間伐、剪定などによる森の再生、市街地に植樹を行うことによる緑の名所づくりに取り組む団体に助成金を交付。

地域の花づくり: 市内にある公園や道沿い、駅前などで花壇づくりを行う団体（花壇などの面積が10㎡以上）に助成金を交付。



地域の森づくり活動団体



地域の花づくり活動団体

緑に親しむイベントやコンテストの開催など

●グリップキャンペーン

毎年10月に都市緑化啓発イベントを開催。緑のまちづくり協会が事務局を務めています。

●一人一花スプリングフェス

4月に警固公園で開催される緑化啓発イベントを共催。

●福岡城さくらまつり

舞鶴公園で開催される福岡城さくらまつりを共催。

●花と緑のまちかど写真コンテスト、花と緑のまちづくり賞

緑化の啓発を目的に、緑のまちづくり協会が実施するコンテスト。



グリップキャンペーン2018 (福岡市植物園)



一人一花スプリングフェス (警固公園)



福岡城さくらまつり (舞鶴公園)



花と緑のまちかど写真コンテスト

緑のコーディネーターの養成・紹介・派遣

●紹介・派遣

緑のまちづくり協会は、市から依頼を受け、花壇づくりや樹木ガイド、花やみどりに関する体験講座などの講師として依頼に適したコーディネーターを紹介しています。

●養成講座の実施

緑に関する一定の知識・技術がある方を対象に、緑のコーディネーター養成講座全10回を実施しています（講座は隔年開催）。

詳しくは12ページへ

緑のコーディネーターとは

市民共働による緑のまちづくりを推進するために、緑のコーディネーター養成講座を修了した方を対象に緑のコーディネーターとして市が認定した方々で、緑化活動のリーダーや体験講座の講師などで活躍しています。



講師の派遣



養成講座 (座学)

緑のコーディネーターによる体験講座や自然観察会の開催



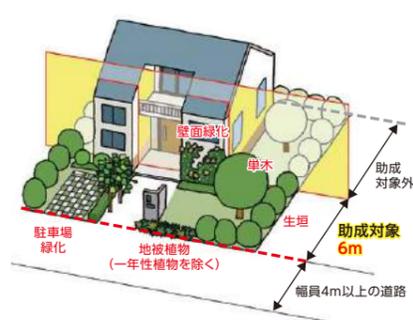
バラを楽しむ (市民センター)



自然観察会 (舞鶴公園)

緑化助成

緑あふれる街並みの形成を目的として、道路から見える民有地緑化に助成します。



都市緑化基金の運営

情報誌『まちとみどり』の発行

調査研究

都市緑化に関する調査研究を行っています。

街路樹などの維持管理

街路樹維持管理の設計・監督、市民要望対応、巡回点検、応急作業などにより、街路樹を健全に育成・管理するとともに、道路空間における市民の安全を確保するための業務を行っています。



街路樹を守るスタッフ



危険箇所の応急作業



街路樹診断



夜間立会の様子

東平尾公園の管理・運営 (指定管理)



博多の森陸上競技場



競技場の芝生管理 (レベルファイブスタジアム)

舞鶴公園の管理・運営 (指定管理)



イベント開催 (福岡城藤まつり)

バックヤードツアー



日ごろ入ることができない選手ロッカールームやスタンドの舞台裏など、リニューアルしたレベルファイブスタジアムを見学。ウォーミングアップ場で選手気分を体験したり、芝生の管理作業も見ることができます。

詳しくはHP [レベスタバックヤードツアー](#)

舞鶴公園でバーベキュー



今年も舞鶴公園西広場にバーベキュー施設がオープンします。手ぶらでもOK、食材や飲み物を持ち込んでも大丈夫です。

<https://green-magic-maizuru.jp/>

緑のまちづくり協会駐車場・公園などにおける便益施設管理運営

●収益事業について

緑のまちづくり協会では、駐車場や、公園便益施設などの管理運営を行い、都市機能の増進、および公園利用者の利便を図るとともに、その収益金を都市緑化推進事業の財源として活用しています。



駐車場



公園自動販売機



福岡市植物園展望台カフェ



花づくりハンドブック・花壇づくりハンドブックの制作

ぐるぐる Vol.16
グリッピ

福岡市花と緑のマスコットキャラクターグリッピのお話

なかまをつくろうの巻



福岡のまちを花とみどりでいっぱい
～皆さまのご支援は福岡市の緑化推進に役立っています～

都市緑化基金へのご寄付ありがとうございます

- 一般社団法人福岡市造園建設業協会
NPO法人緑のキャラバン隊 園芸福祉ふくおかネット
片江市民緑地グリーンメイトの会 株式会社内野環境土木
株式会社竹内土建 九大病院馬出フラワーボランティア
福岡市都市緑化推進行事実行委員会 樋井川グリーンメイト
福岡トヨペット株式会社 ふくおか花と緑の連絡会
舞鶴公園フラワーボランティア みどりちかまる

(平成30年2月1日～平成31年1月31日の間にご寄付いただいた企業・団体、50音順、敬称略)

福岡市都市緑化基金のしくみ 寄付金の税額控除が適用されます

(公財)福岡市緑のまちづくり協会が運営母体となり、市民や民間企業の皆さまからいただいた寄付金を積み立て、その運用益金などを利用し都市の緑化をすすめる基金です。



寄付・募金のお願い

基金の募金箱は福岡市植物園、福岡市情報プラザ(福岡市役所1F)などに設置しています。みなさまのご協力をお願いします。

「一人一花パートナー花壇」に登録しませんか?

皆さんが手入れしている花壇を、ぜひ「一人一花パートナー花壇」にご登録ください。

登録できるのは

- ・民有地の花壇：おおむね1㎡以上
- ・公共施設・用地：おおむね3㎡以上

登録いただくと

- ・一人一花プレート在花壇に設置
- ・一人一花ホームページに掲載(任意)

ホームページに載せる情報は

- ・パートナー花壇の名前
- ・花壇の写真と場所
- ・PRコメント(花壇の特徴、花づくりメンバーの紹介、仲間募集など、なんでもOK!)



希望者には花に関する広報誌の配信など、一人一花運動のお役立ち情報を発信します! 「一人一花パートナー花壇」に登録して、福岡市・スポンサー企業の皆さんと一緒に、一人一花運動を盛り上げていきましょう!

●問い合わせ／福岡しみどり推進課 ☎092(711)4424

寄付金の税控除について

「福岡市都市緑化基金」に対する寄付には、所得税、福岡市の個人住民税で、寄付をした翌年の寄付金税額控除の適用が受けられます。(手続きなど、詳しくは、お気軽にご相談ください)

募金についてのお申し込み・ご相談は

(公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 企画推進係
TEL:092-822-5832

協会本部事務所



〒814-0001 福岡市早良区百道浜 2-3-26
福岡タワーセンタービル2F
TEL 092-822-5832 FAX 092-822-5848

東平尾公園管理事務所



〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-2
(陸上競技場入口)
TEL 092-611-1515 FAX 092-611-8988

舞鶴公園管理事務所



〒810-0043 福岡市中央区城内 1-4
(陸上競技場入口)
TEL 092-781-2153 FAX 092-715-7590

